

～学校教育目標～

一人一人の子どもに、平和な未来を築くための「生きる力（学ぶ力）」を育てる教育を実現する

いたわり はげます 平和な学校

しroyama 大すき

長崎市立城山小学校 学校だより

第20号 令和4年10月31日(月)

校長 武末 弘之

本校ホームページ <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

原爆犠牲者慰霊世界平和祈念市民大行進

素晴らしい青空の下、一昨日（29日）標記大行進に参加しました。市内の様々な団体から多くの方々が集まり、平和公園から原爆落下中心地公園までの平和大行進でした。

長崎から世界平和を祈念・発信する取組で、今年で50回目になるそうです。本校児童が通う学童からも、たくさん子どもたちが参加していました。

閉会のセレモニーでは、岩屋中学校代表の生徒さんが力強く「市民大行進宣言」を読み上げました。以下に、その宣言文から一部抜粋して紹介します。

閉会セレモニーで、色とりどりの風船が飛ばされました。

平和学習を通して、被爆者の方々の高齢化が進み、戦争の体験を語ることができる方が少なくなる中、私たちの世代がその体験を継承するためには、戦争の事実を学び、被爆者の方々の痛みや悲しみに心を寄せ、想像力を働かせて、次の世代に伝えていくことが必要であると感じています。被爆者の方々が体験されたことは、平成生まれの私たちには、到底考えが及ばないような辛いものだったと思いますが、そのようなことを二度と繰り返さないためにも、しっかりと知識を蓄え、先人の思いを心に刻み、自分の言葉で伝えていく力を身に付けていきたいと思っています。今後は、私たち若者世代が平和について深く考え、被爆地に住む者として世界に発信していくことが責務でもあるのです。

私たちにできることは限られていますが、私たちは、将来、二度と悲しいことが起こらないように精一杯努力していきます。人類の英知は、人を悲しませるのではなく、互いに幸せになるためにあると信じるからです。そのために、私たちは、過去の歴史に学び、威嚇や暴力ではなく対話によって高め会える社会、お互いの違いを認め合い尊重し合う民主的な社会を築くことを目指します。

“やきいも”をしました！



これは、芋焼くときの写真です！



少し前（10/20）になりますが、1年生と焼き芋をしました。

昨年が続いて私も参加し、火を点けたり実際に焼いたりする手伝いをしました。点火のときには、「最初は小さな火でも、どんどん大きくなっていく。火事になると、家や山を全部燃やしてしまい、時には人の命も奪う。絶対に火遊びをしないこと」などを話しました。

焼き芋を食べるとき、「いただきます」「あつあつだ！」「ほくほくだ！」「おいしい！！」「ごちそうさまでした」と喜んでくれたことが、とてもうれしかった1日でした！

平和発信協議会の方との学習会

するための学習会を開きました。

子どもたちから次々に出てくる質問に丁寧に答えてくださったり、ピースナビ（平和案内）をするときに気をつけるポイントを教えてくださったりして、有意義な時間となりました。今回の学習会での学びが、今後のピースナビの更なる充実に役立つことを期待しています。



【あはは運動】「あいさつ・へんじ げんきよく！」「はやね・はやおき・あさごはん！」「はきものそろえ いいきもち！」